

# 戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月04日	作成者名	金子 泰久	評価者名	大熊 傑
-----	-------------	------	-------	------	------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	都市整備部・まちづくり推進課
分野	05 住宅	関係課	
施策	56 住まいの安定的な確保		
施策の目的	快適な住宅づくりをはじめとする住まいの安定的な確保に努めることで、市民が安心と安らぎを感じて生活できるようにします。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	住宅政策事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	H31	H32
戸田市マンション管理ネット登録者数	市内マンション管理組合で登録する割 (登録者数/市内マンション管理組数)	%	10	2	4.5	4.5			
空家対策進捗率	平成27年6月現在の管理不全な空家が (改善件数/管理不全な空家件数)	%	100	20	80	80			
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの計画的な維持管理を促すためにも、管理組合の運営等に当たる方に適正な維持管理について普及・啓発する必要がある。</li> <li>・市営住宅についても、建築後30年以上が経過し老朽化が進んでいるため、計画的に維持管理をしていくことが重要である。</li> <li>・空家については、適正管理が図られていないものがあるため、法に基づく指導・助言等により対応する必要がある。</li> </ul>	対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸田市マンション管理ネット登録者を増やし、登録者にマンション管理についての情報提供を行なう。</li> <li>・市営住宅の長寿命化計画に基づき、建物の耐久性を向上させる計画的な改修工事を行うことで入居者の安心・安全を確保する。</li> <li>・管理不全な空家について、適正管理の阻害要因を取り除くため、専門家団体と連携した相談体制の構築を行なう。</li> <li>・空家の利活用の促進として、空家バンク制度の構築等により市場流通を促すことにより、管理不全な空家を未然に防止する。</li> </ul>
----	---	-----	--

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸田市マンション管理ネット登録者数が伸び悩んでいるが、登録者に対し、マンションの適正管理に役立つ情報を提供した。</li> <li>・管理不全な空家については、平成29年度の改善件数はなかったものの、同物件に対する助言・指導を継続し、老朽危険空家についても、特定空家等への指定を行った。</li> </ul>
<b>B</b>		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンション管理セミナーによりマンションの適正管理について普及・啓発活動を行なう。</li> <li>・今後の空家等対策として、空家の適正管理及び利活用に資する空家バンク制度の創設等へ向けた取組みにより業務量が増加する見込みである。業務量の増加に対応するため、市営住宅管理業務の一部について、現在のパート職員の活用による対応を図っていく。</li> </ul>
<b>→</b>		

## (評価者コメント)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸田市マンション管理ネット登録者数を増加させるため普及・啓発活動に引き続き努める必要がある。</li> <li>・今後増加する管理不全な空家への対応を図るため、専門家団体と連携した相談体制の構築を行なう必要がある。</li> <li>・空家の利活用の促進については、空家所有者と子育て世帯をマッチングさせる空家バンク制度の構築及び空家バンク利用者を対象とした補助制度を構築する必要がある。</li> </ul>
---

# 戸田市 施策評価シート

作成日	平成30年06月04日	作成者名	金子 泰久	評価者名	大熊 傑
-----	-------------	------	-------	------	------

## 5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			H 31 予 算 額	事業費  うち 一般財源		
		事 業 区 分	H 31 計 画 額	H29決算額	評価結果							事業の方向性	実施計画候補	実施計画優先度			コメント	
				H30予算額	事業の方向性	実施計画候補	施策への貢献度	経費水準	事業手法	受益・負担の公平性								
				事業費							うち一般財源							人件費
02 住宅政策事業 (まちづくり推進課)																		
	01	住宅政策事業	4,513	2	○	B	B	B	B	2	○	A		0				
	01	08	05											01	02	01	1,570	0
		選択制のある良質な住宅ストックを形成するため、国や県	12,759															
		市営住宅管理費	17,271															
	02	市営住宅の安定供給、有効活用及び効率的な運用を行うた	23,957	1		B	B	B	B	1		A		0				
	01	08	05											01	02	02	18,176	0
		△537	6,483															
04 耐震診断・改修事業 (まちづくり推進課)																		
	01	耐震診断・改修事業	0	1		B	B	B	B	1		B		0				
	01	09	01											04	04	01	2,000	0
		昭和56年以前に建築された住宅等の耐震診断・耐震改修に	2,000															
			1,035															
計 (千円)			事業費	21,784	35,697	21,746	0											
			うち一般財源	2,636	12,510	3,033	0											

事業の方向性： 1 現状で継続    2 拡大して継続    3 縮小して継続    4 他事業と統合    5 休止    6 その他見直し  
 7 平成31年度で終了    8 平成30年度で終了    9 平成29年度で終了